

北九州市長 武内和久 殿

2024年3月15日

日本共産党北九州市会議員団

団 長 荒 川 徹
副 団 長 藤 沢 加 代
幹 事 長 山 内 涼 成
政 調 会 長 大 石 正 信
議 員 高 橋 都
議 員 出 口 成 信
議 員 伊 藤 淳 一
議 員 永 井 佑

抗 議 文

さる3月12日、武内市長の指示を受けた稲原副市長から「門司港遺構の取扱い及び複合公共施設整備に係る協議について（案）」の文書をもって、協議の場への出席要請があった。

わが党は、それが「門司港遺構の取扱い」という極めて重要な案件であることから、真摯に検討をしていたところ、その過程で重大な事実が判明した。

それは、わが党に対して示された文書には、明らかに今後の同遺構の取扱いについての決定的な確認事項が欠落していたことである。欠落した部分を踏まえるならば、わが党として協議に臨むことはあり得ないことである。

欺いてわが党を協議の場に引きだし、市長の思惑通りに事を運ぼうとした所業は公党に対する極めて重大な背信行為であり、断じて許されるものではない。

よってわが党として、今回の市長の対応に厳重に抗議するとともに、以下の対応を強く要求するものである。

- 一、 わが党に対する背信行為について謝罪し、マスコミを通じてそのことを明らかにすること。

以上、抗議し、要求する。